内蔵 LSI RAID アレイ ユーザ マニュアル xw4200/xw6200/xw8200/xw9300 ワークステーション用

目次

内蔵 LSI RAID コントローラとホスト バス アダプタ 2
- 内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順 2
- 内蔵ミラー拡張アレイを構成する 2
- 内蔵ストライプ アレイを構成する 3
- HP リカバリ メディアを使用して、内蔵ミラー拡張アレイに移行する 3
- HP リカバリ メディアを使用して、内蔵ミラー拡張アレイを設定する 3
- HP リカバリ メディアを使用して、内蔵ストライプ アレイを設定する 4
- 手動の OS インストールにより内蔵ミラー拡張アレイを設定する 4
- 手動の OS インストールにより内蔵ストライプ アレイを設定する 4
- データ用の内蔵ミラー拡張アレイを設定する 5
- データ用の内蔵ストライプ アレイを設定する 5

内蔵 LSI RAID コントローラとホスト バス アダプタ

このマニュアルは、ご使用の HP xw4200 Workstation、HP xw6200 Workstation、HP xw8200 Workstation、または HP xw9300 Workstation で内蔵 LSI RAID を使用するための方法について説明しています。

注記: RAID 機能を利用するには、2 つ以上の SCSI HDD を内蔵 LSI RAID デバイスに接続している必要があります。Web サイト http://www.hp.com/support/workstation_manuals (英語)、http://www.jpn.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html (日本語) から、ご使用のワークステーションの『Service & Technical Reference Guide (英語版)』『テクニカルリファレンスガイド(日本語版)』を参照してください。

警告: 内蔵 LSI RAID を有効にする前に、ユーザ データをすべてバックアップしてください。以降の処理により RAID セット内で使用されているドライブ上のデータがすべて破棄される場合があります。

内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順

1. ワークステーションの電源を入れるか、再起動します。
2. 画面に “`F10=Setup`” と表示されたら <F10> キーを押します。
3. 使用言語をリストから選択して <Enter> キーを押します。[ ] に続く ( ) 内は日本語表示の場合を示します。
4. 矢印キー (左、右、上または下) を使って選択します。
5. HP xw8200 Workstation のオンボード LSI RAID コントローラの場合:
   I. [Security] (セキュリティ) → [Device Security] (デバイス セキュリティ) → [OnBoard SCSI Controller = Device available] (OnBoard SCSI Controller = **デバイス使用可**) と選択して、<F10> キーを押して変更を受け入れます。
   II. [Advanced] (カスタム) → [Device Options] (デバイス オプション) → [SCSI Option ROM = Enable] (SCSI Option ROM = **有効**) と選択して、<F10> キーを押して変更を受け入れます。
   III. 変更を適用し保存するには、左または右の矢印キーを使って [File] (ファイル) を選択し、上または下の矢印キーを使って [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) を選択して <Enter> キーを押します。
6. HP xw9300 Workstation のオンボード LSI コントローラ (RAID ではない) の場合:
   I. [Advanced] (カスタム) → [Device Options] (デバイス オプション) → [SCSI Option ROM = Disable] (SCSI **オプション** ROM = **無効**)と選択して、<F10> キーを押して変更を受け入れます。
   II. 変更を適用し保存するには、左または右の矢印キーを使って [File] (ファイル) を選択し、上または下の矢印キーを使って [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) を選択して <Enter> キーを押します。
   III. 下記の手順で RAID を構成した後、SCSI Option ROM を再度有効にします。
7. HP xw4200 Workstation、HP xw6200 Workstation、HP xw8200 Workstation、および HP xw9300 Workstation の内蔵 LSI RAID HBA (ホスト バス アダプタ) 付きの場合:
   I. 左または右の矢印キーを使って [Advanced] (カスタム) を選択し、上または下の矢印キーを使って、HBA が取り付けられている適切な I/O スロットを選択して <Enter> キーを押します。
   II. [Option ROM = Enable] (オプション ROM ダウンロード = 有効) であることを確認します。
   III. 変更を適用し保存するには、左または右の矢印キーを使って [File] (ファイル) を選択し、上または下の矢印キーを使って [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) を選択して <Enter> キーを押します。
8. 作成対象の RAID に必要な場合は、RAID ファームウェアと OPROM をダウンロードしてアップデートしてください。RAID ファームウェアと OPROM のアップデート ユーティリティは http://www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、http://www1.jpn.hp.com/products/workstations/support/index.html (日本語) から入手できます。

内蔵ミラー拡張アレイを構成する

1. ワークステーションを再起動します。
2. POST メッセージを表示するには、POST 中にどれかキーを押します。

3. 下記のメッセージが画面に表示されたら、<CTRL-C> キーを押して、LSI Logic Configuration Utility に入ります。

   Press Ctrl-C to start LSI Logic Configuration Utility…

4. アレイを構成する対象のアダプタを選択します。
5. [RAID Properties] (日本語はなし。全て英語表記) を選択します。
6. 矢印キー (上または下) を使って、アレイのプライマリ ドライブを選択し、<Space> キーを押します。
7. 単一ドライブ (OS またはデータ) を移行している場合は、<F3> キーを押します。それ以外の場合は、<Delete> を押します。
8. 矢印キー (上または下) を使って、アレイの、次のドライブを選択し、<Space> キーを押します。
9. アレイに構成するドライブがあればステップ 8 を繰り返します。アレイには 2 台から 6 台のドライブを収容できます。
10. <Esc> を押します。
11. 矢印キー (上または下) を使って <Save changes then exit this menu> (日本語はなし。全て英語表記) を選択し、<Enter> を押します。
12. <Esc> を押します。
13. 矢印キー (上または下) を使って <Exit the Configuration Utility> (日本語はなし。全て英語表記) を選択し、<Enter> を押します。

内蔵ストライプ アレイを構成する

1. ワークステーションを再起動します。
2. POST メッセージを表示するには、POST 中にどれかキーを押します。
3. 下記のメッセージが画面に表示されたら、<CTRL-C> キーを押して、LSI Logic Configuration Utility に入ります。

   Press Ctrl-C to start LSI Logic Configuration Utility…

4. アレイを構成する対象のアダプタを選択します。
5. [RAID Properties] (日本語はなし。全て英語表記) を選択します。
6. 矢印キー (上または下) を使って、アレイの最初の HDD を選択します。
7. 次のメッセージを切り替えるには <Space> キーを押します。

   Array Disk?= [Yes]

8. アレイに 2 台から 6 台の HDD を構成するまでステップ 6 と 7 を繰り返します。
9. <Esc> を押します。
10. 矢印キー (上または下) を使って [Save changes then exit this menu] (日本語はなし。全て英語表記) を選択し、<Enter> を押します。
11. <Esc> を押します。
12. 矢印キー (上または下) を使って <Exit the Configuration Utility> (日本語はなし。全て英語表記) を選択し、<Enter> を押します。

HP リカバリ メディアを使用して、内蔵ミラー拡張アレイに移行する

1. セクション「***内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順***」の手順を実行します。
2. セクション「***内蔵ミラー拡張アレイを構成する***」の手順を実行します。
3. Restore Plus! CD を挿入してシステムを起動します。
4. 画面の指示に従ってリカバリを実行します。

HP リカバリ メディアを使用して、内蔵ミラー拡張アレイを設定する

1. セクション「***内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順***」の手順を実行します。

2. セクション「***内蔵ミラー拡張アレイを構成する***」の手順を実行します。
3. Restore Plus! CD を挿入してシステムを起動します。
4. 画面の指示に従ってリカバリを実行します。

HP リカバリ メディアを使用して、内蔵ストライプ アレイを設定する

1. セクション「***内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順***」の手順を実行します。
2. セクション「***内蔵ストライプ アレイを構成する***」の手順を実行します。
3. Restore Plus! CD を挿入してシステムを起動します。
4. 画面の指示に従ってリカバリを実行します。

手動の OS インストールにより内蔵ミラー拡張アレイを設定する

1. セクション「***内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順***」の手順を実行します。
2. セクション「***内蔵ミラー拡張アレイを構成する***」の手順を実行します。
3. Web サイト http://www.hp.com/go/workstationsupport (英語) に行きます。
4. ご使用のワークステーションを選択します。
5. 「download drivers and software」をクリックします。
6. ご使用のオペレーティング システムを選択します。
7. 「driver storage」をクリックします。
8. 「LSI Logic Ultra320 SCSI Adapters Driver」のダウンロード用アイコンをクリックします。
9. [download] をクリックし、ドライバを暫定の場所に保存します。
10. 暫定の場所でダウンロードしたファイルをダブル クリックします。画面の指示に従って解凍を実行します。

    注記: ファイルの内容は、通常 **c:¥swsetup¥spxxxxxx** に解凍されます。ここで spxxxxxx は、ダウンロードしたファイルの名称です。
11. [**スタート**] → [**ファイル名を指定して実行**] を選択し、テキストボックスに「**cmd**」を入力して [OK] をクリックします。
12. ディレクトリ **c:¥swsetup¥spxxxxxx** に移動します。
13. <path>¥Driver の内容を、空きフロッピー ディスクのルートディレクトリにコピーします。

    注記: ファイルを 3.5 インチ フロッピー ディスクに保存する必要があります。OS セットアップ中にドライバをワークステーションにコピーするとき、フロッピー ディスク ドライブしか参照できないからです。

手動の OS インストールにより内蔵ストライプ アレイを設定する

1. セクション「***内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順***」の手順を実行します。
2. セクション「***内蔵ストライプ アレイを構成する***」の手順を実行します。
3. Web サイト http://www.hp.com/go/workstationsupport (英語) に行きます。
4. ご使用のワークステーションを選択します。
5. 「download drivers and software」をクリックします。
6. ご使用のオペレーティング システムを選択します。
7. 「driver storage」をクリックします。
8. 「LSI Logic Ultra320 SCSI Adapters Driver」のダウンロード用アイコンをクリックします。
9. [download] をクリックし、ドライバを暫定の場所に保存します。
10. 暫定の場所でダウンロードしたファイルをダブル クリックします。画面の指示に従って解凍を実行します。
11. **注記:** ファイルの内容は、通常 **c:¥swsetup¥spxxxxxx** に解凍されます。ここで spxxxxxx は、ダウンロードしたファイルの名称です。

12. [**スタート**] → [**ファイル名を指定して実行**] を選択し、テキストボックスに「cmd」を入力して [OK] をクリックします。

13. ディレクトリ c:¥swsetup¥spxxxxxx に移動します。

14. <path>¥Driver の内容を、空きフロッピー ディスクのルートディレクトリにコピーします。

    注記: ファイルを 3.5 インチ フロッピー ディスクに保存する必要があります。OS セットアップ中にドライバをワークステーションにコピーするとき、フロッピー ディスク ドライブしか参照できないからです。

データ用の内蔵ミラー拡張アレイを設定する

1. セクション「***内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順***」の手順を実行します。
2. セクション「***内蔵ミラー拡張アレイを構成する***」の手順を実行します。

データ用の内蔵ストライプ アレイを設定する

1. セクション「***内蔵 LSI RAID を有効にするための共通手順***」の手順を実行します。
2. セクション「***内蔵ストライプ アレイを構成する***」の手順を実行します。